



月出の道路から

山笑い 里山に春ふたたび

庭に咲く岩ツツジの開花の時期が、冬の寒さのパロメーターの役割をして、早いときは正月に咲いたこともあります。4月に入り山は一斉に萌え出し、山桜の咲く山全体がこの時期にしか見られない見事な景観を呈しています。車の到着を待ちました。桜が咲き始めたり、いつもより長く桜を鑑賞することができています。

飯給駅の前の田に水が張られ夕方からライトアップされると、位置取りした多くのカメラマンが列車の到着を待ちます。この場所はすでに有名な撮影スポットになっています。カメラマンだけでなく、この光景の中を楽しむかのようにゆづくり見て歩いている人もいたり、他から来た人にとっては一つの聖地になっています。ここに立つてみるとわかるのですが、道路が近くにあるにもかかわらずかなり静かで、そこに聞こえてくる蛙のなき声がさらりと効果的に雰囲気を高めています。

久保駅も前の田に菜の花が咲き、素晴らしい景観になっています。

四季折々その景観を変えていく里山で、とりわけ寒



い冬の後の春の景色は生命の息吹と色彩で格別です。当たり前の景色であっても、1年ごとにそれぞれ違う姿を見せるのがそのないものです。そしてそれは日々に姿を変えていき、光の強さが増すとともに初夏に向かっていきます。

(征矢里山通信)



野田っぽり 月出の道路から 高滝駅

平成31年3月11日に、加茂学園では第6回卒業証書授与式が行われました。多くの来賓を迎えて、1年生から8年生まで全員が「オール加茂」の気持ちで9年生を見送りました。今回の卒業生は個性豊かな生徒たちで、加茂学園の生活や行事に多くの刺激と足跡を残した立派な卒業生でした。

平成31年4月11日には入学式があり、加茂学園では第6回卒業生のみなさんからサプライズがありました。「笑」の文字が書かれた色紙が、各町会長会会長から卒業生全員に手渡されました。卒業生は高校に行っても笑顔を忘れないで頑張ってほしいと思っています。

9年担任 高山裕子先生より

加茂学園のリーダーとしての自覚を持つて、後輩達のために、先生方や地域のみなさんへ支えてもらっている自分たちで新たな歴史を築いた卒業生。これから自分自身の良さを生かして、自分の道を進んでほしいです。

平成31年4月10日には入学式があり、14名のかわいい新入生を迎えるました。自分の親のように大きくな9年生に手を引かれ、小さな1年生が喜ぶ光景は、小中一貫教育校ならではのほほえましい瞬間で、保護者も喜んでいました。背筋を直し伸びて山田校長先生の話を聞いていた新入生一人一人の顔は希望に満ちあふれ、輝いていました。多くの先生方から行儀がよく落ち込んでいるという評価を受けた立派な新

平成31年4月10日には入学式があり、14名のかわいい新入生を迎えるました。自分の親のように大きくな9年生に手を引かれ、小さな1年生が喜ぶ光景は、小中一貫教育校ならではのほほえましい瞬間で、保護者も喜んでいました。背筋を直し伸びて山田校長先生の話を聞いていた新入生一人一人の顔は希望に満ちあふれ、輝いていました。多くの先生方から行儀がよく落ち込んでいるという評価を受けた立派な新

1年担任 松崎美穂子先生より

恒例の読者対象の宝船プレゼントの抽選を2月18日に行い、2月24日に引き渡し式を行いました。応募の葉書には今回も多くのご意見が寄せられました。応募の中には感動的な筆章もあり、編集部同心打たました。当日は暖かく最高の天気に恵まれ、当選者の皆さんにも豪華な賞品を前に晴れやかに嬉しい表情を見せていました。なごやかなことで、もとい式典となりました。

情報提供、取材依頼はお近くの通信員へ。メールでも受け付けます。記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。

市原商工会議所 0436(22)4305 担当 霧崎

Eメール shiimazaki@j-sci.or.jp

次回は7月25日発行予定です。

メールでも受け付けます。記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。

市原商工会議所 0436(22)4305 担当 霧崎

Eメール shiimazaki@j-sci.or.jp

今回は南市原のタケノコを使つた「まぜごはんの素」を新発売するそうです。

石井食品の会長である石井健太郎氏は、「タケノコが産地から届いてスーパーに並ぶのに1週間ほどかかる。だからあく抜きが必要でしょ。水煮では風味が無くなる。産地から2時間ほどで加工してタケノコの風味そのままのものを食宅に届けたい」と意気込みを語ついてました。またこうした会を3か月に1回程度行つて、いつも話していただき、地域との連携を深めたいとする同社の考え方を伝わってきました。

交流会では小出市原市長をはじめ、玉ねぎを提供している縁で白子町の林町長・里見駅の喜動房但楽部の松本会長・小湊鉄道の石川社長をパネラーに、意見交換も行われました。その後は校庭に用意されたテント





こつもど紀行 市原の筈で新商品

A photograph showing a group of eight people standing on a paved area in front of a wooden fence and lush greenery. They are participating in a ribbon-cutting ceremony. From left to right: a woman in a white kimono, a man in an orange vest over a dark shirt, a man in a blue jacket, a man in a green jacket, a man in a yellow jacket, a man in a dark suit, a man in a dark suit, and a man in a yellow jacket. Each person is holding a red ribbon end. In the background, there is a large red archway and more greenery.



4月6日は若狭の日



里山の御馳走

お詫び



お詫び

人と環境が一体となって大切な未来へ 自然環境と人間との調和を目指して

 杉田建材株式会社

本 社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com>

里山からの発信

2月23日（土）にアート×ミックス2020に向けての作戦会議が湖畔美術館で行われました。作戦会議といつてもアートディレクターの北川フラム氏の話と出席者との意見交換が主な内容でした。北川氏からは次のような話がなされました。

今日本中で300を超える美術祭が存在している。また来日者の数は4000万人を目指にするところまで来ている。こうした中で文化行政が劇的に変わってきた。生活とかかわっている美術が引つ張っている状況にある。中でも食が極めて重要と言わざるを得ない。アート・フェスティバルではなくて人ご手云つてもう

今日本で：〇〇を起す事は勿論が存在している。
また来日者の数は4000万人を目指にするといふまで
で来ている。こうした中で文化行政が劇的に変わつて
きた。生活とかかわっている芸術が引っ張つて
いる状況にある。中でも食が極めて重要と言わざるを得ない。アート・フェスティバルでは人に手伝つてもら
う。うまくいっているのは人が手伝つていいところで、人がかまつてくれないと面白くない。手伝わないと面白いものにならない。他の芸術祭では外国人のサポーターが増えている。この市原では駅からの交通を工夫したい。作家はへんなことを面白いことに変える能力の高い人を選びたい。総じて面白い芸術祭をやりたい。



2月23日（土）にアート×ミックス2020に向けての作戦会議が湖畔美術館で行われました。作戦会議といつてもアーティストディレクターの北川フラム氏の話と出席者との意見交換が主な内容でした。北川氏からは次のような話がなされました。

日本中で300を超える芸術祭が存在している。また来日者の数は4000万人を目標にするところまで来ている。こうした中で文化行政が劇的に変わってきた。生活とかかわっている芸術が引っ張っている状況にある。中でも食が極めて重要と言わざるを得ない。アート・フェスティバルでは人に手伝つてもらう。うまくいっているのは人が手伝つているところで、人がかまつてくれないと面白くない。手伝わないと面白いものにならない。他の芸術祭では外国人のサポート率が増えている。この市原では駅からの交通を工夫したい。作家はへんなことを面白いことに変える能力の高い人を選びたい。総じて面白い芸術祭をやりたい。

A photograph showing a group of eight people standing in a row on a paved area. From left to right: a woman in a white kimono, a man in an orange vest over a dark shirt, a man in a blue jacket, a man in a green jacket, a man in a yellow jacket, a man in a dark suit, a man in a light-colored suit, and a man in a yellow jacket. They are holding red ribbons and are positioned in front of a wooden fence and some greenery. The background shows a hillside with trees.



（征矢里山通信員）
ノイエンブルグの徹底した日本文化研究は、日本人を訪れる外国人も含め多くの人々が集まる、
ノイエンブルグの文化祭になつてほしいと思ひます。



ソラテルハリイチバ

2月16日（土）に月崎駅と大久保駅間の通称「田っぽり」で篠竹や藤づるなどを取り除く整備と、



加茂菜津清 講習会2019